

顕彰会便り

No.25

平成21年(2009)3月31日

編集・発行

津田左右吉博士顕彰会

美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1

TEL 0574-28-1110

津田記念館へいちっしゅい!

津田記念館では、顕彰会と会員をはじめとする地域のボランティアグループのみなさん、下米田小学校などにより、様々な活動が進められています。津田記念館については開館当初より、津田博士を紹介する展示施設というだけではなく、左右吉の生き方に学びつつ、地域文化の向上、

文化交流の場としての活用が期待されてきました。今回ご紹介するのは一部ですが、それらの活動を通じて、地域の方々が津田博士と出会い、博士にふれることのできる機会となっています。



▲▶
2008年8月より「ゆずりは」さんが、いけ花や茶の湯講座を開催されています。普段から館内を作品で飾ってくださったたり、3/28には子ども茶会もひらかれました。



◀12月より「さくらの会」さんが、気軽に参加できる囲碁体験をひらいています。熱心な方が参加されています。そのほかに、七夕かざりやお楽しみ会なども開催されました。



▶
2009年1月には「読書サークル米田会」さんにより、恒例となった百人一首大会が開催されました。みなさん、日頃の練習の成果を発揮されていました。



第24回津田左右吉賞の結果について

平成20年11月15日

顕彰会では、「あなたの夢」・「津田左右吉博士」をテーマに作文募集を毎年行っており、その授賞式及び作文発表会・記念講演会が津田左右吉博士記念館(美濃加茂市下米田町)で開催されました。今回の作文応募数は六百九十一点、参加学校数は岐阜県内の小中学校から三十四校となりました。

授賞式終了後には、蟹江杏奈さん(名古屋音楽大学大学院)による記念講演会「小さな憧れから大きな夢へ」声楽の世界を学び」がありました。

蟹江さんは、オペレッタ「天国と地獄」ヴィーナス役をはじめ、多数の演奏会に出演されており、現在は内田恵美子、林剛一各氏に師事して声楽を学んでいます。あわせて、第十三回津田左右吉賞 小学校五・六年生の部において、作文「歌で広がる私の友達」が入賞されたのです。

講演では、子ども時代から参加し



ていた、合唱団を通じた活動や続けた努力、夢を叶えるための決断や迷いなどにふれながら、それらを通じて出会い、支えられてきた大切な「人」への感謝の想いなども話してくださいました。小中学生の受賞者にとっては、夢に向かってまさに今、まい進している。お姉さんの姿は、とても印象深かったようでした。また、ミュージカル「キャッツ」より「メモリー」(アンディ・ロイド・ウェーバー作曲)ほかを披露してください、この時間は、津田記念館がコンサート会場になりました。

第24回津田左右吉賞受賞者一覧

——（小学校5・6年生の部）——

最優秀賞

美濃加茂市立山手小6年 奥村彩香
『私の夢 介護士になりたい』

優 秀 賞

美濃加茂市立太田小6年 金森晴奈
『私のゆめ』

美濃加茂市立下米田小5年 杉山大晟
『人間とロボットは友達』

佳 作

関ヶ原町立今須小6年 山田摩耶
『みんなが笑顔に』

美濃加茂市立伊深小5年 篠田ことね
『助産師になるために』

美濃加茂市立三和小6年 山田闊志
『将来の夢』

美濃加茂市立下米田小6年 佐々木美穂
『考古学者になりたい』

——（中学生の部）——

最優秀賞

岐阜市立加納中3年 柳澤杏実
『夢とは何だろう』

優 秀 賞

大垣市立南中1年 大塚桃香
『あなたの「夢」』

美濃加茂市立東中2年 杉山 昇
『僕の夢』

佳 作

瑞穂市立巣南中3年 内藤裕也
『大切な夢』

土岐市立土岐津中3年 服部美希
『私のゆめ』

美濃加茂市・富加町中学校組合立双葉中1年 柴田茉紀
『司書という夢』

学校法人美濃加茂学園 美濃加茂中2年 小池利奈
『私の夢』

平成20年度 津田左右吉博士顕彰会・津田記念館の活動

月	内 容	月	内 容
4月	各週水、土曜日にさくらの会（代表 中田光子）との活動を記念館にて継続して開催。	10月	「第24回 津田左右吉賞」作文コンクール審査委員会開催。受賞者を決定。（10/7）
5月	津田左右吉博士顕彰会役員会、理事会を開催（5/29）	11月	「第24回 津田左右吉賞 表彰式・作文発表会／記念講演会」（津田記念館）（11/15） 小学校5・6年生の部、中学生の部、計14名が授賞。 記念講演会「小さな憧れから大きな夢へー声楽の世界を学びー」 講師 蟹江杏奈氏（名古屋音楽大学大学院）
6月	よなだっこ広場「バルーンアート」開催。（下米田小学校・さくらの会）（6/21） このほかにも記念館は、下米田小学校によって授業などに利用された。 七夕の飾りつけを開催。（津田記念館／さくらの会共催）（6/27～7/13） 下米田保育園の園児によって館内に飾りつけられた。	12月	「囲碁体験」講座開催（津田記念館／さくらの会共催）（12/13） 以降、毎月土曜日に囲碁の体験活動を継続。
7月	第24回津田左右吉賞の案内を市内小・中学生、県内小・中学校、関係機関へ発送。（7/18～9/5）	1月	「新春 百人一首大会」の開催。（津田記念館／読書サークル米田会共催）（1/10）
8月	「いけ花・茶の湯」子ども体験教室の開催。（津田記念館／ゆずりは共催）（8/2） お茶の体験、牛乳パックを使ったフラワーポットづくりが催された。 以降、毎月土曜日に「いけ花・茶の湯」講座の開催、館内へのいけ花飾りつけが継続された。 「夏休みお楽しみ会」を開催。（津田記念館／さくらの会・東中学校生徒による共催）（8/23） 「ふしぎな手品ショー」、「ミニゲーム大会」が催された。	2月	「しもよねフェスタ 津田左右吉集会」の開催。（津田記念館／下米田小学校）（2/21） 津田左右吉賞受賞児童による作文発表、ア・カペラ三重唱「アンサンブル フィオレ」による津田左右吉博士の歌が発表された。また、みのかも文化の森学芸員による講話「津田左右吉博士について」が行われた。顕彰会役員、理事が出席。
9月	産経新聞文化部記者、日曜版文化面「すてきなところへ」に関する取材。 佐合会長への取材、津田左右吉博士記念館、みのかも文化の森の見学。 10/19（日）に記事が掲載された。（9/30）	3月	伝統文化に親しむ会「子ども茶会」の開催。（津田記念館／ゆずりは共催）（3/28） 「いけ花・茶の湯」受講生によるお茶会及びいけ花作品の発表会が催された。また、琴や尺八も演奏された。 下米田小学校卒業式において、卒業生に記念品贈呈（津田左右吉博士文鎮、図書「津田左右吉物語」）を贈呈（3/28） 津田左右吉博士顕彰会便りの発行（3/31）